

平成30年度 ワカメ養殖情報第1号 (平成30年9月26日)

- 20℃以下の水温帯は、鮫角沖からトドヶ崎沖20～30海里(37～56 km)に近接しているほか、本県沖合を南下し、その南端は歌津崎沖170海里(315 km)にあります(図1)。
- 本県沖合における栄養塩の表面分布は前年同時期並みの値であり(図2)、県南部湾内定点の栄養塩も例年並みの値となっています(9/12)。
- 岩手丸の9月沖合観測結果から、10マイル定点の栄養塩が20 μg/L以上となる確率は、10月中は全般的に80%未満となり低い見込みです(図3)。
- 栄養塩や水温の動きに注意し、巻き込み作業の準備を進めて下さい。

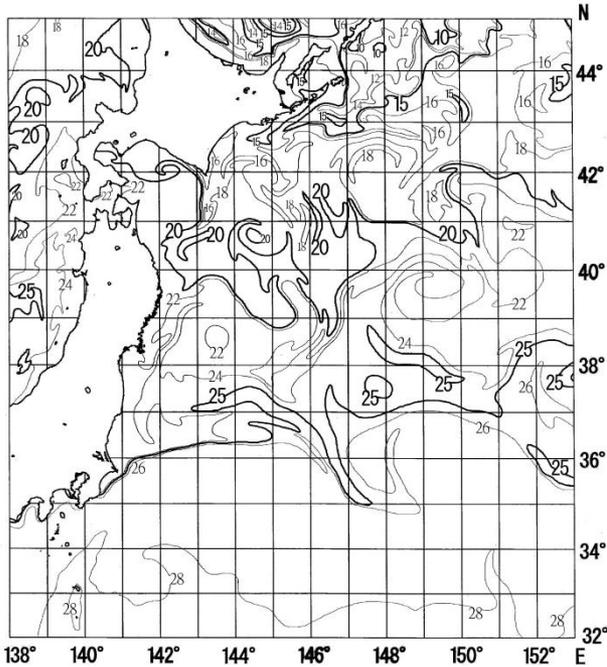


図1 本県沖合における表面水温分布(9/20～21)

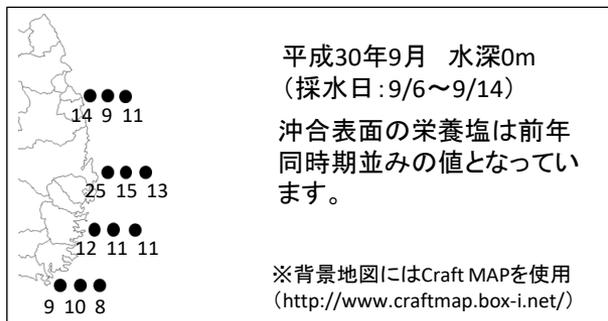
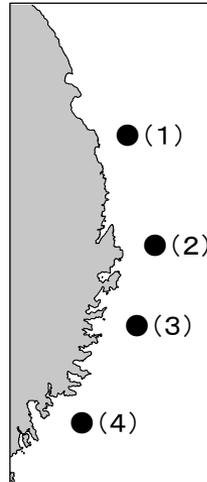


図2 本県沖合における栄養塩の表面分布(μg/L)



(1)黒崎 2018年10月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
	5%	5%	5%	5%	5%	5%
7	8	9	10	11	12	13
5%	5%	10%	10%	10%	10%	10%
14	15	16	17	18	19	20
10%	10%	10%	14%	19%	19%	19%
21	22	23	24	25	26	27
19%	24%	24%	33%	38%	38%	38%
28	29	30	31			
48%	52%	52%	57%			

(2)トドヶ崎 2018年10月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
	10%	10%	14%	14%	14%	14%
7	8	9	10	11	12	13
14%	14%	14%	19%	24%	24%	29%
14	15	16	17	18	19	20
38%	38%	43%	43%	48%	52%	52%
21	22	23	24	25	26	
67%	67%	67%	67%	76%	76%	

(3)尾崎 2018年10月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
	10%	10%	14%	14%	14%	14%
7	8	9	10	11	12	13
14%	19%	24%	29%	33%	33%	38%
14	15	16	17	18	19	20
38%	38%	38%	38%	43%	43%	48%
21	22	23	24	25	26	
48%	48%	48%	48%	52%	57%	

(4)椿島 2018年10月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
	6%	6%	6%	6%	6%	6%
7	8	9	10	11	12	13
6%	11%	11%	11%	11%	22%	22%
14	15	16	17	18	19	20
22%	22%	22%	22%	28%	28%	28%
21	22	23	24	25	26	27
33%	39%	39%	39%	39%	39%	44%
28	29	30				
50%	50%	50%				

図3 10マイル定点の栄養塩が20μg/L以上となる確率(予測結果)

※湾内自動水温観測装置(定地)水温観測システムの設置、水温及び栄養塩供給予測のためのソフトウェア開発は、農林水産省農林水産技術会議による「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」による成果です。沖合栄養塩の分析は「環境省平成30年度地域適応コンソーシアム北海道・東北地域事業委託業務」における「海水温の上昇等によるホタテガイ及びワカメ等の内湾養殖業への影響調査」の一環で実施しています。なお、定地水温の値は、午前10時の水温を採用しています。 ※当情報は水産技術センターホームページでもご覧いただけます。 URL: <http://www2.suigi.pref.iwate.jp/>

国土地理院の基盤地図情報に観測点を追記して掲載